

工業部会通信

(発行) かながわ経済新聞合同会社
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3
商工会館本館1階
※プリントしてご自由にお読みください。

かながわ経済新聞
KANAKAI

老舗旅館の働き方改革 GETプロ、10月に講演会

工業部会GETプロジェクトは、今年度のテーマである「働き方改革」で中小企業の先進事例を探るため、経営講演会を10月30日の午後6時半から同8時まで、市立産業会館で開催する。講師には創業390年の老舗旅館、一の湯(箱根町)の小川尊也社長を招く。同テーマの講演会は第二弾となる。

「人時生産性」導入で成果



一の湯の小川社長

同社は、平日なら宿泊料金1万円を下回る低価格路線を歩む一方で、社内では働き方改革を進める。それでも高収益を達成しており、県の「神奈川がんばる企業エース」にも選ばれた。2026年には株式上場も計画する。

まだ世間がバブル好景気だった1988年。先代社長の時代に1泊1万円を切る低価格路線に踏み切った。「1泊2、3万円で一生に一度泊まれる旅館にするのか、1万円にして何度も来てもらえる気軽な旅館としていくのかを天びんにかけました(小川社長)。低価格ならお客さんが増える。景気の波にも左右されない。しかし、肝心の利益をどう生むのか。試行錯誤の末、導入したのが「人時生産性」だった。「人時生産性」とは、粗利益(総売上額から総仕入れ額を引いたもの)を労働者人数で割り、一人当たりの粗利益を出す。その粗利益を総労働時間で割って算出する。



松岡氏が連載開始 ビジネスでも役立つ「心理」「行動」を解説

工業部会副部長で湘南デザイン(緑区橋本台)CEOの松岡康彦氏が、9月中旬発行の「さがみ」から商工会議所会報」で連載をスタートした。松岡氏は精神保健福祉士の資格を持ち、大学院でも心理学で修士課程を修了するなど、同分野でも活躍している。今回から始まる連載では「人の気持ちと行動パターン」をテーマに、実際のビジネスで想定される人の心理などを、具体例を挙げながら分かりやすく解説していく。松岡氏は2017年にも会報で「うつを出不い職場づくり」をテーマに連載を執筆している。

柴田製作所 「アナログ技術」で勝負 切削加工事業を強化

工業部会員の柴田製作所(緑区下九沢)は、アナログ技術で勝負する。「ベンチプレス」と呼ばれる精密卓上旋盤の中古モデル(1986年製)を新規導入し、職人技による金属の切削加工事業を強化していく。金属加工は今やコンピュータを使ったNC旋盤が主力。ものづくりがデジタル化する中で、旧来式の旋盤は「アナログ」とされ、精度を出すには腕が問われる。その世界にあえて踏み込んだ。同社の主力事業は、鉄板などの素材に対し、無数の穴を開けて筒状に丸めるエレメント部品加工。自動車やオートバイ



意気込みを見せる柴田社長

の内燃機関連の部品などに使われているが、生産量は取引先の事情に左右されてしまう。そこで、安定した売り上げを確保しようと着目したのが、旋盤を使った金属加工だ。「NC旋盤ですと、機械のセッティングから始まり、完成まで時間がかかりすぎます」と柴田英児社長。地域の町工場では昔ながらの職人が高齢化で減っ

親子でプログラミング ロボットガーデン開催

次世代のロボット人材育成に取り組み「さがみ」はロボットガーデンのイベント「こどもロボットクリエイター教室」初級編(主催は相模原市、相模原商工会議所)が、夏休み期間である8月17、24の両日、サン・エールさがみはらにて開催されたII写真。



児童とその保護者でロボットプログラミングを体験した。

相模原商工会議所 会員の皆様へ
業務中の自転車事故は事業主の責任として

使用者責任

が発生します!

法人における損害賠償の実例

賠償額	事故の概要
約3,000万円	従業員が業務中に自転車で横断歩道を走行中、前方にいた自転車で行中の女性を追い抜こうとして接触。女性が転倒したはずみで脳挫傷を負い、重大な障害が残った。
約2,576万円	従業員が業務中に赤信号を無視して自転車で横断歩道を走行中、横からバイクに乗り走ってきた男性と衝突。バイクに乗っていた男性は転倒し、右脛腓骨骨折の障害を負い、重大な障害が残った。

(東京海上日動火災保険(株)調べ)



えっ!
個人賠償責任保険では補償されないの?!

業務中の自転車使用 3つのリスク

- 第三者をケガさせる
第三者への損害賠償リスク(使用者責任)
※職務遂行に直接起因する損害賠償責任は個人賠償責任保険では補償されません。
- 第三者のもの(車など)を壊す
使用者責任とは…民法715条において事業主は従業員等の被用者が業務中に第三者に加えた損害を賠償する責任を負う旨を規定しています。
- 自転車を運転していた自社従業員がケガをする
従業員の業務災害リスク

東京海上日動の「ビジネス総合保険制度」と「あんしんプロテクトW」でしっかりお守りします!

事故の相手への備え **ビジネス総合保険制度**
自社従業員への備え **あんしんプロテクトW**

しかも、自転車事故だけじゃない!
事業活動を取り巻く賠償責任リスク、労働災害リスクを包括的に補償します!

自転車の保有台数制限なし!
保険料は全額損金処理できるんだ!
裁判時の弁護士費用等もお支払い!

日本商工会議所・全国商工会連合会・全国中小企業団体中央会の会員の皆様には、一般の加入より割安に加入できる団体制度をご用意しています。詳細は下記までお問い合わせください。

本チラシは、ビジネス総合保険制度(事業活動包括保険)とあんしんプロテクトW(業務災害総合保険)の概要をご紹介します。保険の内容の詳細は「パンフレット」または「ご契約のしおり(約款)」をご確認ください。ご契約に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明の点については下記お問い合わせ先までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】(株)東海日動パートナーズTOKIO 神奈川支店 相模原支社 TEL.042-707-9888 FAX.042-755-1121
〒252-0239 神奈川県相模原市中央区中央3-14-12 山久第一ビル8F (平日9:00~18:00)

【引受保険会社】東京海上日動火災保険株式会社

C15-10262(1)改定201803
1404-ER07-16009-201803